

首里城がつなく 「過去」から「未来」へ...

首里城復興レポート Vol. 9
(R4年度まとめ版)

目 次

●首里城復元に向けた取組状況・・・・	2
●県の首里城復興に向けた取組状況・・・・	13
●首里城復興に係る寄附金の状況・・・・	30
●これまでの県・国の動向・・・・	49



公式復興サイト



公式Twitter

沖縄県 土木建築部首里城復興課

首里城復元に向けた取組状況

- 令和元年10月31日の火災以降、首里城正殿等の復元に向けて、破損瓦等の撤去や焼失した建物の解体等を進めるとともに、首里城正殿遺構等の一般公開を実施。
- 一般公開をはじめとする「段階的公開」、正殿を皮切りとした「首里城復元」、それらの実施を通じた「地域振興・観光振興への貢献」に取り組んでいる。

首里城復元に向けた「3本柱」

段階的公開

首里城復元に向けて進む破損瓦等の撤去や躯体の解体、復元工事の様子を、安全性を確保しながら一般公開を進める。



原寸場見学エリア

首里城復元

令和4年中の首里城正殿の本体工事の着工に向けて、関係機関と密に連携を図りながら、首里城復元に向けた技術検討委員会での検討を進める。



令和元年度 第3回技術検討委員会

地域振興・観光振興への貢献

首里城の段階的公開、首里城復元に向けたボランティア活動や公園イベントの開催を通して、沖縄の地域振興・観光振興への貢献に努めていく。



うるし塗り原料“ニービの粉”製作ボランティア

首里城正殿等の復元に向けた工程表

		(年度)								
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降
正殿	材料調査 (大径材)		<u>市場調査</u>							
	設計		<u>基本設計</u>	<u>実施設計</u>						
	材料調達 (大径材)			<u>調達 乾燥</u>						
	工事	<u>仮設道路</u> <u>がれき撤去</u>		<u>木材倉庫</u>	<u>発注手続(WTO)</u>	<u>本体工事</u>				
北殿、南殿等			<u>撤去</u> <u>正殿復元の施工ヤードとして使用</u>							
			<u>検討</u>	-----	-----	-----	-----	-----	<u>工事</u>	

首里城ドローン写真（令和元年11月1日時点）

全焼

一部焼失



令和元年10月31日未明に発生した火災により、9棟の建物が被災（全焼：7棟、一部焼失：2棟）。



 沖縄総合事務局



正殿復元に向けた仮設施設の整備について(CGイメージ)



沖縄総合事務局

2021年10月完成

2022年9月完成

2022年11月以降整備

素屋根



素屋根 見学棟

原寸場 見学エリア

北殿北側見学通路

木材倉庫

奉神門

原寸場

※詳細は現在調整中

北殿北側見学エリアの整備（R4年10月1日供用開始）

木材倉庫の令和4年9月末完成にあわせて、令和3年10月27日に供用開始した北殿北側見学通路（仮設デッキ）に新たな見学エリアがオープン。本見学エリアでは、原寸場内で作業する職人の様子が間近で見られるほか、デジタルサイネージによる正殿復元の工程等の解説や木材倉庫等の解説展示等を設置している。



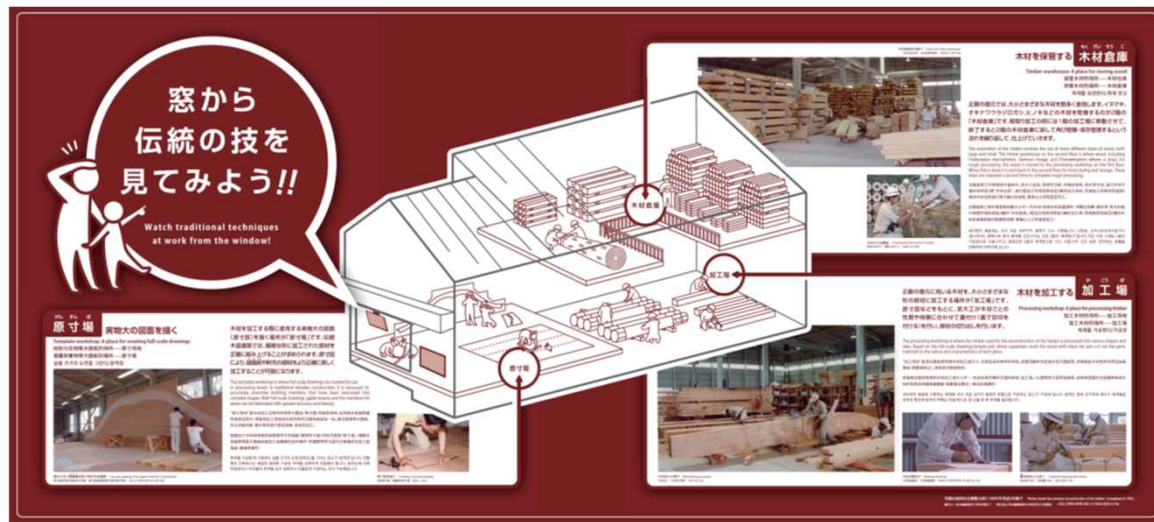
北殿北側見学エリア（全景）



原寸場横の新たな見学エリア



原寸場内の様子を見学可能に



現場での展示サイン

- 火災により被災した赤瓦のうち、破損せずに残った瓦について、今後の北殿・南殿等の復元で再使用するため、「赤瓦漆喰はがしボランティア」を実施。
- 正殿の赤瓦の原料に使用するシャモット（破損瓦を粉末にしたもの）を製作するための粗割り作業「正殿赤瓦のシャモット製作ボランティア」を実施。
- 正殿の漆塗装の原料に使用するニービの粉（正殿の柱を支えていた礎石を粉末にしたもの）を製作する「首里城うるし塗り原料“ニービの粉”製作ボランティア」を実施。

【首里城赤瓦漆喰はがしボランティア】

- ・開催日程：1期目／R2年3／23～4／4（コロナで中断）
2期目／R2年10／24～12／25
3期目／R3年3／20～4／18
4期目／R3年11／6～11／14
- ・実績：のべ約4.3千人参加、約2.4万枚の瓦を処理

【首里城正殿赤瓦のシャモット製作ボランティア】

- ・開催日程：R4年8／3～11／30
- ・実績：のべ約1.1万人参加、
約8.6tのシャモットを製作



【首里城うるし塗り原料“ニービの粉”製作ボランティア】

- ・開催日程：R5年1／13～5／14（予定）
- ・実績：のべ約1.6万人参加、
(R5.3.31現在) 約470kgのニービの粉を製作



令和4年度 首里城復興祭

1. 実施概要

日にち: 令和4年10月29日(土)～11月3日(木・祝) 6日間開催

場所: 首里城公園及び公園周辺

実施プログラム: ①国王・王妃出御 ②復興特別見学ツアー ③琉球王朝祭り首里「古式行列」 ④国王・王妃御轎(うちゅう)乗車体験
⑤首里城復興祈念ステージ ⑥琉球王朝絵巻行列 映像上映 ⑦琉球芸能公演 ⑧琉球泡盛の粹in銭蔵
⑨子ども御開門式(うけーじょー) ⑩木遣行列・正殿起工式映像上映 ⑪正殿ぬり絵体験 ⑫ペーパークラフト体験
⑬三線ステージ・体験会 ⑭首里城美術工芸品パネル展 ⑮首里城AR謎解きラリー ⑯木遣イベント

2. 総括

- ◆最終日の11月3日には、木遣行列・正殿起工式と連携して開催し、コロナ過以降はじめて1万人を超える来園者で賑わった。
- ◆木材倉庫・原寸場を見学できる首里城復興特別見学ツアーでは、通常は立ち入れない作業場で有識者や学芸員による解説を受けるプログラムを実施することで更なる復興の気運を醸成できた。

3. 実施状況写真



国王・王妃出御



首里城復興特別見学ツアー



琉球王朝祭り首里「古式行列」



琉球芸能公演

1. SNSを活用した広報活動

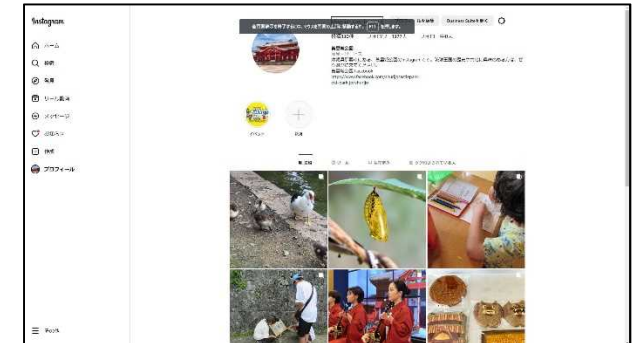
首里城公園公式Facebook、YouTubeに加え、InstagramとTwitterの新規アカウントを開設し、復興の状況や公園イベントをSNSで情報発信している。またYouTubeでは「首里城正殿に会いたくて」と題し、正殿復元工事の作業場や首里城公園の魅力を紹介をしている。



YouTube



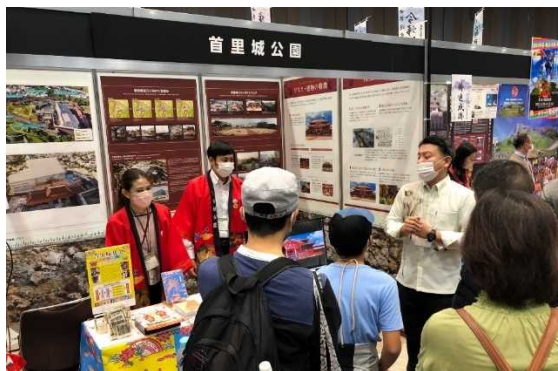
Twitter



Instagram

2. お城EXP02022への出展

令和4年12月17日(土)～18日(日)に神奈川県パシフィコ横浜ノースで開催された「お城EXP02022」に出展し、首里城の歴史概要や復興の様子を紹介し、VRを活用して復元される正殿のリアル体験を行った。また、沖縄県内の世界遺産に登録されているお城(グスク)などと連携し、コラボ御城印などを開発・販売することで、首里城公園をはじめとする沖縄の城郭へのPR・周遊促進を図った。



出展ブース



VR体験会



復元される正殿の紹介(VR体験会)

県の首里城復興に向けた取組状況

全体概要：首里城復興基本計画(R3. 3)の基本施策



策定の趣旨

「首里城復興基本計画」は、基本方針で示した主な施策について、具体的に取り組む際の方向性等を体系的に定め、首里城復興を計画的に推進することを目的としている。

また、県民はじめ多くの人びと、企業・団体等及び行政・大学・関係機関等が、復興基本計画を共有することで、20年、50年先などの未来を見据え、連携・協働して、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の価値を確実に次世代へ継承し、それぞれの時代にふさわしい新たな文化創出など沖縄発展の礎として首里城復興に一体的かつ継続的に取り組んでいく。

計画の位置づけ

本復興基本計画は、令和4年(2022年)度を始期とする新たな沖縄振興計画の実施計画において、首里城復元はもとより、首里城に象徴される歴史・文化の観点から沖縄振興を目指す施策のマスタープランとなるものである。

首里城復興が目指す将来像

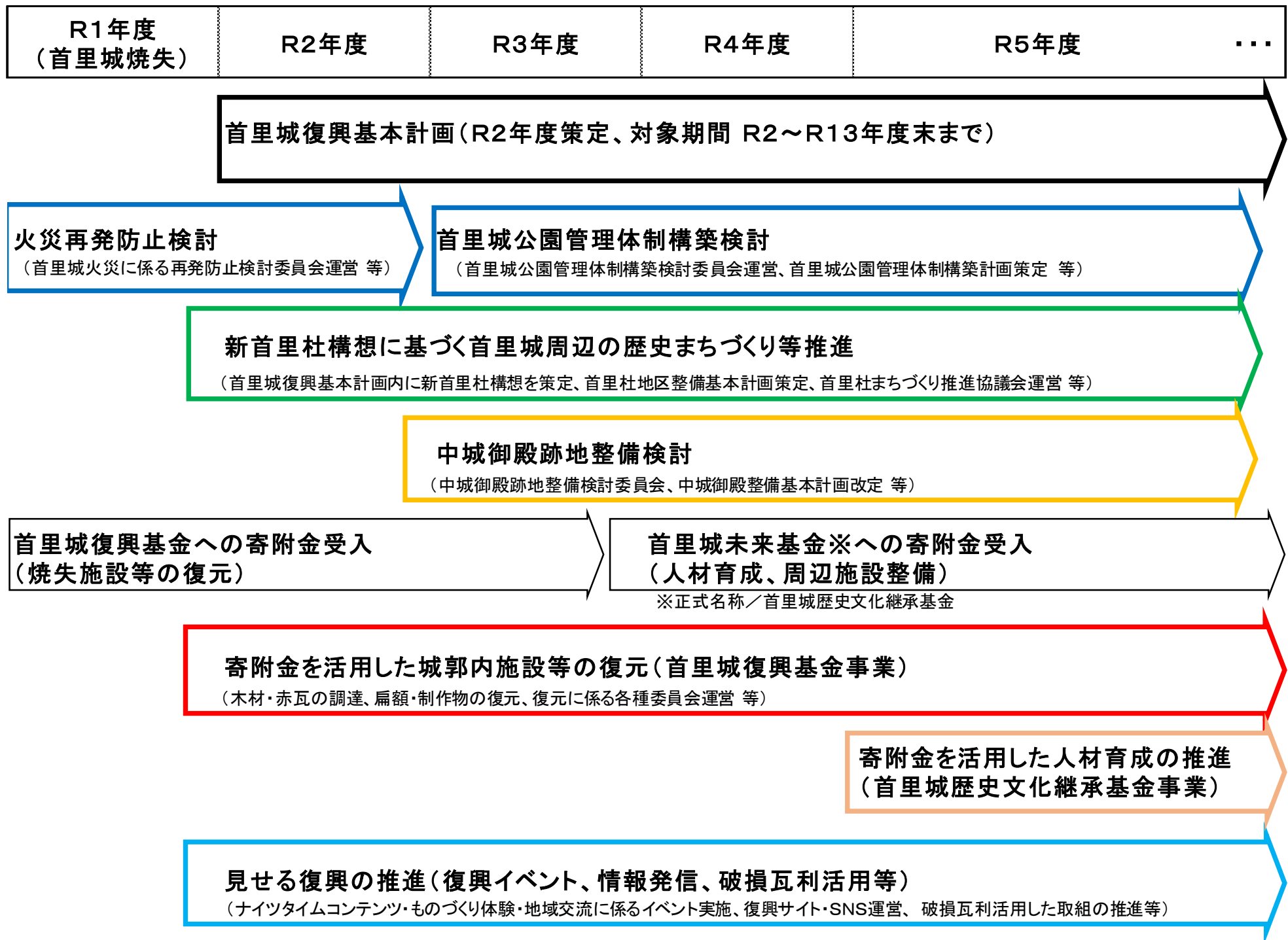
首里城に象徴され、古より体験・継承している歴史・文化を基層として、ふるさとへの誇りや愛着を感じられる社会が形成されるとともに、その時代に生きる私たちがそれぞれの挑戦を通して多様で重層的な沖縄振興が果たされている。

そして、これらが積み重なって沖縄の新たな歴史・文化が創造され、これらが基層に加わることで、さらに発展していく社会を目指す。

基本施策	施策展開	主な担当部局
1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開	(1)伝統技術を活用した施設整備 (2)木材、瓦等の調達に向けた取組 (3)復元過程の公開による観光資源としての活用	土木建築部
2. 火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化	(1)再発防止に向けた防火設備等の強化 (2)安全性の高い施設管理体制の構築	土木建築部
3. 首里城公園のさらなる魅力の向上	(1)国営・県営区域の一体的利用 (2)多様で柔軟な施設の活用	土木建築部
4. 文化財等の保全、復元、収集	(1)首里城跡の適正な保全と価値の周知 (2)文化財等の復元、修復及び収集	文化観光スポーツ部 教育庁
5. 伝統技術の活用と継承	(1)伝統的な建築技術の活用と継承 (2)美術工芸における伝統技術の継承	商工労働部 土木建築部※1 文化観光スポーツ部 教育庁
6. 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進	(1)歴史を体現できる風格ある都市空間の創出 (2)首里城公園及び周辺地域の段階的整備 (3)交通環境の整備	土木建築部
7. 歴史の継承と資産としての活用	(1)多様で魅力ある観光資源の活用 (2)平和を希求する「沖縄のこころ」の発信 (3)次世代を担う子どもたちへの継承	子ども生活福祉部 文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁
8. 琉球文化のルネサンス	(1)多様性・独自性を持つ琉球文化の再認識 (2)琉球文化の復興と新たな文化の創出 (3)国内外へ向けた琉球文化の発信	文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁

※1首里城未来基金を活用した人材育成をR5から開始

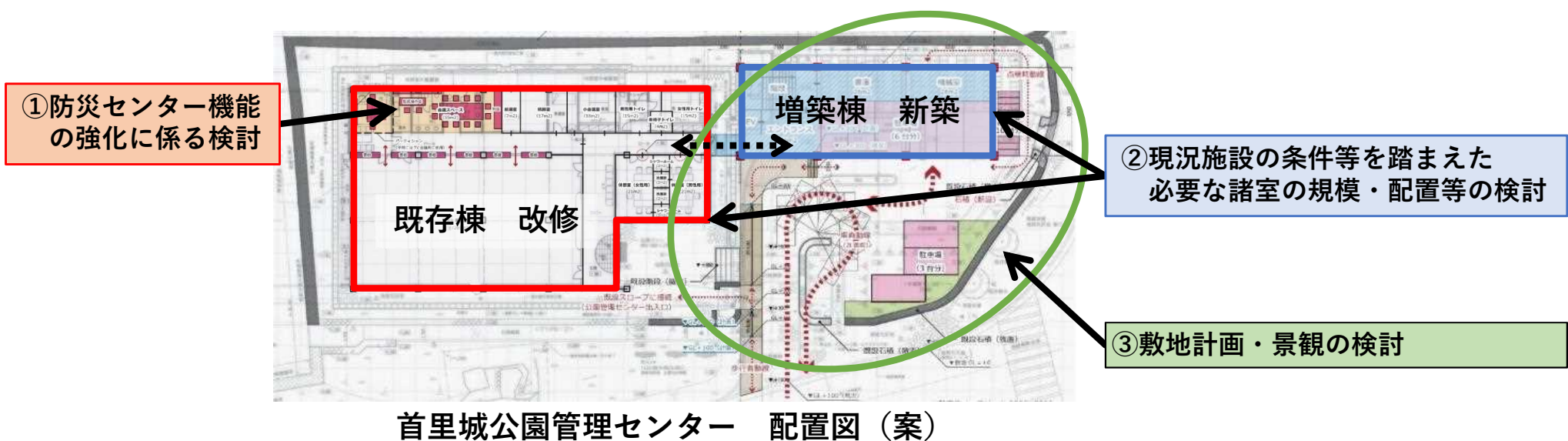
首里城復元・復興に向けたスケジュール（県）



首里城公園の管理体制構築「公園管理センターの増築・改修」

令和3年度の検討を踏まえ、令和4年度は、公園全体の統括機能の強化に向けて、**首里城公園管理センターの増築・改修の基本設計（景観検討を含む）**を行った。

年度 取組	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
管理センター 及び首里杜館 の増築・改修	整備方針	基本設計 管理センター の基本設計 (景観検討を含む)	実施設計 管理センター及び 首里杜館の 実施設計 (建築審査会等を含む)	増築・改修工事 管理センター及び 首里杜館の 増築等工事 (国営公園との連携構築に 伴う設備等を除く)	工事 国営公園との連携構築に伴う 設備等の整備 (城郭内の情報を奉神門以外への共有)	
防火設備等 の整備 火災受信機 監視モニター 放送設備 自家発電設備	防災センター機能 の向上の考え方	詳細検討 防火設備等の 詳細検討 ※国と県の役割分担等を含む	基本設計 防火設備等の 基本設計等	実施設計 防火設備等の 実施設計等 全体基本計画を 反映	工事 火災受信機、監視モニター、 放送設備、自家発電設備等の 整備	
	復元基本方針	※国の検討	全体基本計画			



首里城公園の管理体制構築「公園管理センターの増築・改修」基本設計方針【概要】

既存棟の配置計画

- ・ 首里城公園管理センター内に防災拠点スペースを設け、城郭内外の情報の集約と発信に対応できる防火設備等を集約した配置とする。

増築棟の配置計画

- ・ 必要諸室面積を確保しつつ、周辺景観を考慮して県道50号線側からできる限りセットバックした配置とする。
- ・ 駐車・駐輪スペースを最小限に抑えて、既存植栽帯を活かし、現在の緑の景観を保持するように計画する。

建築計画

- ・ 増築部分は、地下1階・地上2階建てとする。
- ・ 既存棟と屋根葺き方や屋根勾配を統一する。

立面計画と施設の色彩の計画

- ・ 既存管理棟と渡り廊下でつなぐ増築部分であることから、施設全体として外観の一体感を持たせるため、既存管理棟と同様の仕上材とし、腰壁(厚30杉板張り)や巾木(琉球石灰岩)の高さを既存施設と揃える計画とする。

<参考> BIMソフトを用いた3Dパース



管理センター北東側(交差点)※鳥瞰



管理センター北東側(出入口)



東側立面図 No Scale

中城御殿跡地整備の概要

【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で竣工間取図などの復元（再現）を可能とする根拠資料が存在する。

【事業実施場所】

旧県立博物館跡地（首里城公園（県営区域）内）

【規模・総事業費】

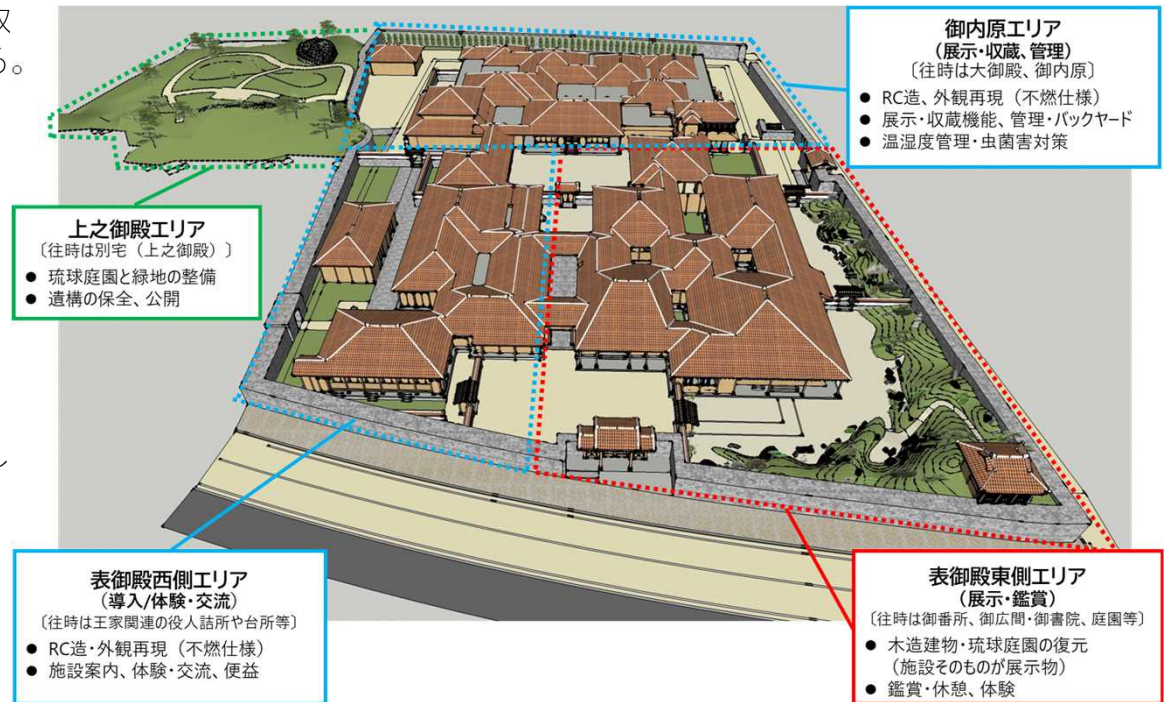
敷地面積：約11,330㎡

延べ床面積：約3,870㎡（RC造3,030㎡、木造840㎡）

【令和3年度整備基本計画改定の概要】

- ・首里城復興基本計画を踏まえ主に以下の項目を見直し
- ①展示・収蔵計画の拡充見直し（美術工芸品の保存管理）
- ②施設全体の防災・防火対策の強化
- ③公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

中城御殿イメージパース



【中城御殿整備スケジュール（案）】

	項目	事業	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031
城郭内	正殿復元	国営公園事業	実施設計	発注手続 (WTO)		工事		正殿完成	※城郭内スケジュール 令和2年3月公表 「首里城正殿等の復元等に向けた工程表」参照				
	松崎馬場など 龍潭周辺整備	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		松崎馬場など龍潭周辺整備 調整・設計		工事		公開（供用開始）					
中城御殿	【第1期工事】 上之御殿 (庭園・広場)	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		上之御殿 設計	工事			公開（供用開始）					
	【第2期工事】 御内原 表御殿西側 (RC造)	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		御内原・表御殿西側 設計 ※時期調整中	工事			公開（供用開始）					
	【第3期工事】 表御殿東側 (木造復元)	事業化に向け 引き続き調整					表御殿東側 設計			木材調達、本体工事			

首里まちづくり研究会作成パース



中城御殿の家門（正門）那覇市歴史博物館

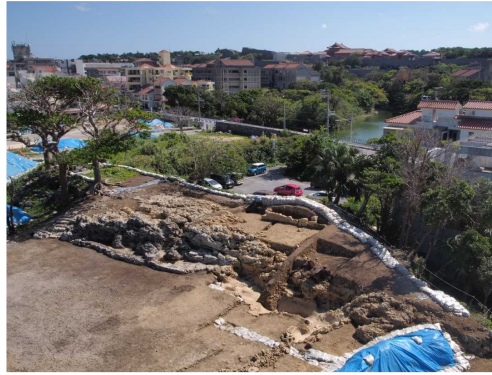


中城御殿上之御殿エリア（第一期工事 R5～）の整備方針

往時の立岩周辺の写真



遺構写真（上之御殿庭園遺構）



整備計画イメージパース



北側アプローチ

- ・上之御殿エリアからの緊急時避難経路として、北側に階段を設ける。
- ・階段及び擁壁の外観は、中城御殿の景観に馴染む仕上げを行うものとする。
- ・発掘調査にて遺構が検出された場合は、検出遺構を基に計画を見直すものとする。

西側の段差

- ・エリア西側の石積み遺構等は保全する。
- ・段差があった往時の地形（段差）を表現するため、新規石積を設置する。

園路・植栽

【園路】

- ・来訪者が自由に空間を味わう広場とし、園路は整備しない方針とする。

【植栽】

- ・遺構が確認されている旧階段や庭園周辺などのエリア（南側・東側）は抑制的な植栽とし、新たな擁壁や造成を行うエリア（西側・北側）は修景植栽や遮蔽植栽を検討する。

庭園遺構

- ・上之御殿庭園は、将来の文化財指定の支障とならないよう、整備は最小限とする。

立岩（ガシュマルの拝所）周辺

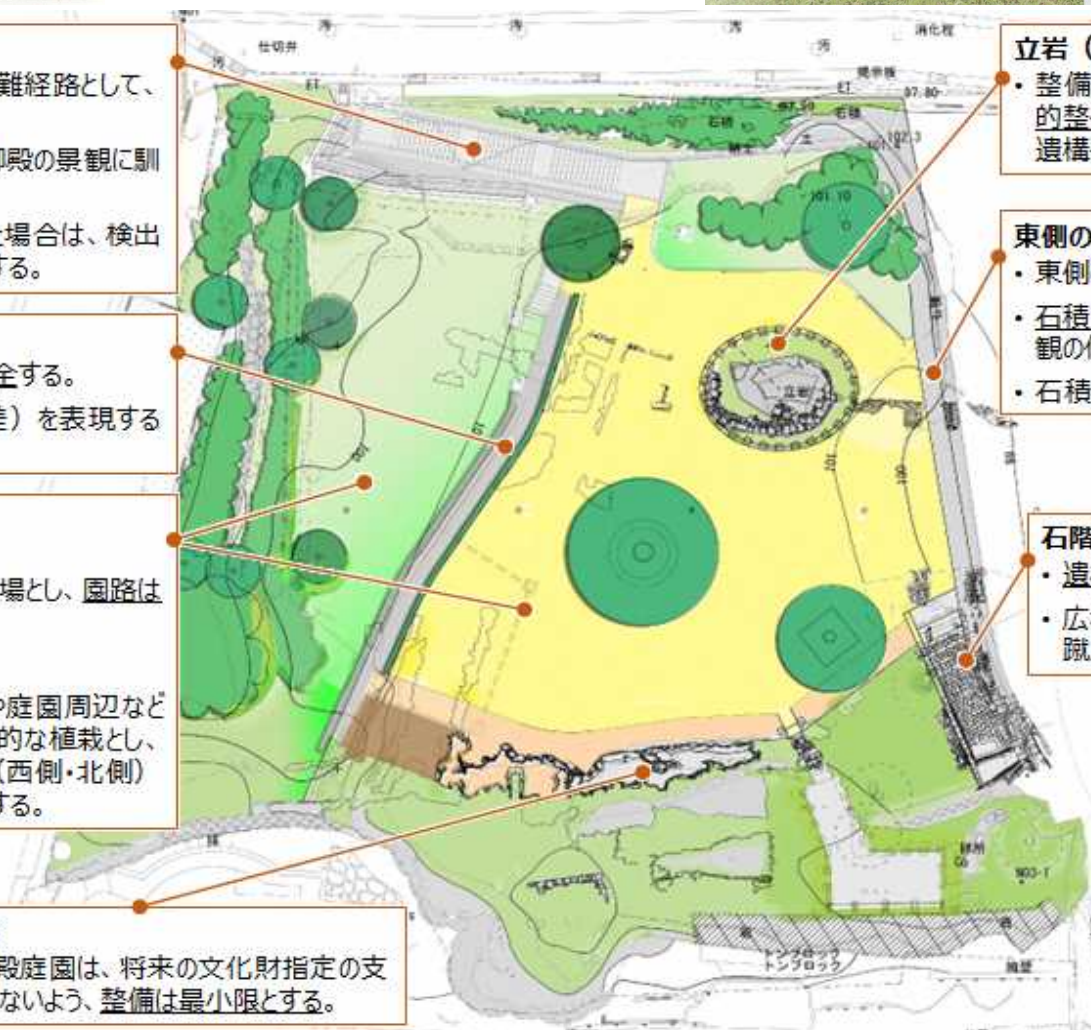
- ・整備の根拠となる資料が少ないため、今回は復元的整備は行わないものとし、外周に来園者の安全や遺構保護を目的とした進入禁止柵を設置する。

東側の石積

- ・東側の残存石積は、修理し、活用する。
- ・石積がない箇所は新たに石積擁壁を整備する。外観の仕上げについては景観に馴染むよう配慮する。
- ・石積の高さは、古写真の分析等により推定する。

石階段

- ・遺構を修理し、活用する。
- ・広場の計画高にあわせるため、旧階段と同様な蹴上と踏み幅の階段を新たに2段設置する。



龍潭周辺整備（松崎馬場跡）の整備方針

松崎馬場跡の整備方針

- 首里城正殿及び中城御殿の整備工程を踏まえ、令和8年度までに松崎馬場の空間を整備する。
- 宿道上の遺構の保全、公開、活用等の方針は中長期的な視野で検討するため、遺構の真上を避けた位置に園路を整備する。

【園路整備の方針】

- ① 園路(宿道)は、令和8年度までの供用開始に向け暫定的なルートでの整備とする。
- ② 園路整備では、中城御殿と公園中心部を結ぶ来園者や管理車両等の通行機能を確保する。
- ③ 園路は、師範学校時代の石垣や芸大石積を迂回したルートとする。
- ④ 園路整備にあたっては、宿道(松崎馬場)の歴史的風致景観や世持橋からの景観に留意する。
- ⑤ 園路幅員は、試掘調査で検出された宿道遺構の舗装幅員の4.0mを基本とする。
- ⑥ 園路沿いで転落の恐れのある箇所については、安全対策を講ずるものとする。
- ⑦ 園路沿いの芸大境界側には築山・植栽帯を設け、芸大駐車場からの雨水等を受ける側溝を設ける。

【広場整備の方針】

- ① 利用者の休憩や歴史学習への活用を想定し、国学・首里聖廟石垣前と松崎(龍潭突出箇所)付近、園路中間付近に広場を配置する。
- ② 周辺施設の景観や遺構に留意するとともに、広場の機能を考慮した整備を行う。



松崎馬場のイメージ

出典：NPO法人首里まちづくり研究会ホームページ



『中山傳信録』の「重陽宴図」（1719年冊封）
琉球大学



龍潭の一帯（明治34年発行 日本名勝地誌）
那覇市歴史博物館

首里杜地区整備基本計画（令和4年4月策定）の概要

○目的

首里城復興基本計画の基本施策に位置付けられた「**新・首里杜構想による歴史まちづくりの推進**」を目的とし、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策などを取りまとめた計画である。

○計画期間

- ・計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間とする。
- ・正殿完成予定の令和8年度までを前期5年、以降を後期5年とする。

○計画の特徴

計画の各取り組みについては、**具体的なロードマップ**を整理している。また、多様な主体が連携して効果的なまちづくりを行えるよう、テーマやエリアごとに**関連する施策や事業をパッケージ化**した点が特徴である。

○計画の推進体制

令和4年度に、有識者、行政関係、地域団体、関係事業者等で構成する「**首里杜まちづくり推進協議会**」を設置し、計画の進捗管理や改善を実施予定。協議会では、県、那覇市、地域団体の三者にて事務局を担い、計画の実現に向けた**推進体制を構築**することとしている。



○取り組みロードマップ(一部抜粋)

方針	中項目	小項目	取り組み No	継続 or 新規	事業	事業主体	前 期 (5年)					後 期 (5年)
							2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027～2031年度
							令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
(1) 古都首里を感じられる空間の創出	①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進 ③共創の景観まちづくりの推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	4	継続	無電柱化推進事業（県道49・50号線）	県(道路管理課)	調査(文化財) → 設計 → 工事					
			5	継続	公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)	景観アセスメント対象事業の選定・実施					
		11	継続	沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県(都市計画・モノレール課)	人材育成・シンポジウム等の計画・実施等						
(2) 歴史文化資源等の保全・整備・活用	①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用 ②拠点資源及び周辺の保全・復元・整備	歴史文化資源の保全・復元・整備	15	新	第32軍司令部壕保存・公開	県(女性力・平和推進課)	有識者委員会における検討					
			16	継続・新	中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)	設計 → 工事					
			17	継続	円覚寺三門復元工事	県(文化財課)	工事 →					
			18	継続・新	龍潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)	調査・設計 → 工事等(順次実施)					
			20-1	新	指定文化財周辺の環境整備(南城郭、継世門等の修復保全)	県(文化財課)	調査・設計・工事等(順次実施)					
	21-1	新	地域資源の調査及び修景等	県(首里城復興課)	取り組み方針の検討 → 調査・設計 → 整備等(順次実施)							
		主要渋滞箇所の対策	22	継続・新	渋滞ボトルネック対策	県(道路街路課)	交通量調査、渋滞長調査、対策検討、対策実施(順次実施)、効果検証					

首里杜まちづくり推進協議会（令和4年9月設立）の概要

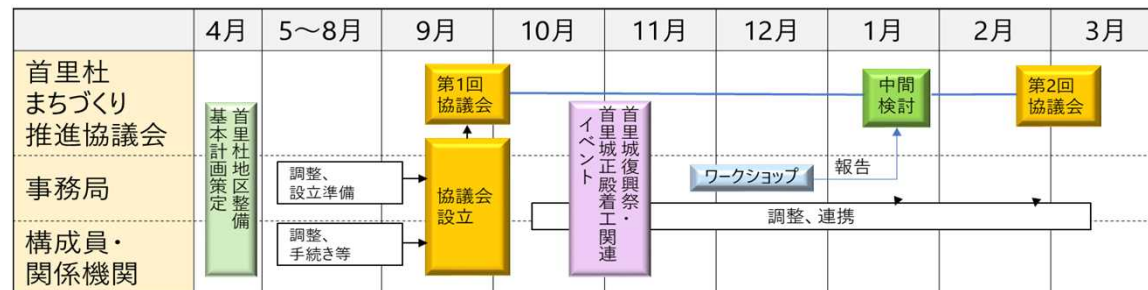
首里杜まちづくり推進協議会【設立総会】

日時：2022年9月21日（水）14時～

場所：首里公民館

令和4年度の活動概要

- ①各主体が進める事業の内容確認／進捗確認
- ②協議会の体制のあり方の検討
- ③「首里杜地区交通・観光マネジメント計画（骨子案）」の検討
- ④首里杜地区のまちづくりや協議会に関する情報発信

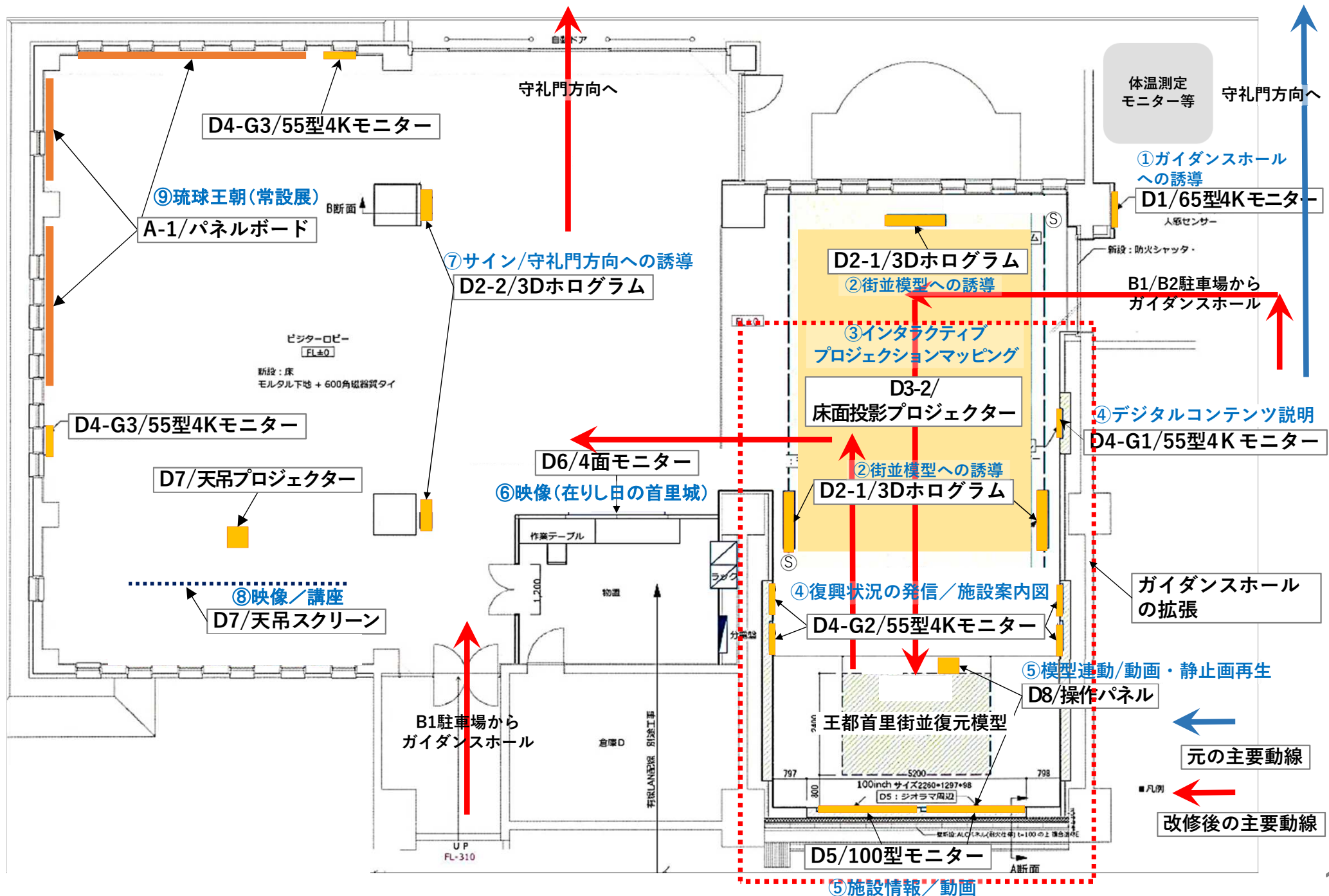


事務局体制

地域事務局を首里杜まちづくり団体連絡協議会、市事務局を那覇市都市計画課、県事務局を沖縄県首里城復興課に設置し、協議会の調整やとりまとめを行う。

構成員分類	構成員	
(1) 地域	地域住民・団体 など	首里杜地区まちづくり団体連絡協議会
(2) 事業者	地域に所在する観光・商工・交通に関連する事業者、NPO、社団法人 など	首里染織館suikara
	バス・タクシーなど公共交通関連事業、観光DXなど関連テーマを推進する団体・事業者 など	S C S K株式会社
(3) 学術機関、専門家、団体	地区や取り組みに関連する学術機関や専門家グループなど	国立大学法人 琉球大学
(4) 行政	国、県、市	那覇市
		沖縄県
		国（沖縄総合事務局）
(5) その他必要な構成員	首里城公園管理者 など	一般財団法人 沖縄美ら島財団

首里杜館ガイダンスホールの改修について（1）



首里杜館ガイダンスホールの改修について（2）



インタラクティブプロジェクションマッピング
D3-2/床面投影プロジェクター



王都首里街並復元模型/解説動画等
D5/100型モニター(2台)



サイン/守礼門方向への誘導
D2-2/3Dホログラム



街並模型への誘導
D2-1/3Dホログラム



琉球王朝（常設展）
A-1/パネルボード

県民等の復興への参画促進への取組(首里城火災破損瓦等の活用)

首里城火災で焼け残った瓦や石材を首里城の思い出として活用したいとの声を受けて、希望者に対して破損瓦等を配布し、様々なイベントや活動を行ってもらうことで、首里城への「思い」を多くの人が共有し、形として残していくことを目的に実施。

OKINAWA
—とやがたの文化と歴史—

首里城への「思い」を共有し、かたちに残そう！
首里城破損瓦・石材の活用
希望者募集

首里城火災で焼け残った瓦や石材(以下、破損瓦等という)を
首里城の思い出として活用したいとの声を受けて、
破損瓦等を利用して様々なイベントや活動を行ってもらうことで、
首里城への「思い」を多くの人が共有し、
また「思い」を形として残していくことを
目的としています。

	大	中	小
平瓦	 1袋/5枚入り 30cm/1,500g前後	 1袋/10枚入り 15cm/500g前後	 在庫なし 1袋/20枚入り 5cm/100g前後
丸瓦	 1袋/5枚入り 30cm/1,500g前後	 1袋/10枚入り 15cm/500g前後	 在庫なし 1袋/20枚入り 5cm/100g前後
その他 (軒瓦等)	 1袋/5枚入り 30cm/1,500g前後	 1袋/10枚入り 15cm/500g前後	 在庫なし 1袋/20枚入り 5cm/100g前後
磚瓦	 1袋/5枚入り 30cm/4,000g前後	 1袋/10枚入り 15cm/1,300g前後	 1袋/20枚入り 5cm/500g前後
石材	 砂岩 5~30kg	 凝結石灰岩 5~30kg	注意事項 ※石材の大きさに 大小の差があります。 ※サイズに関しては、 あくまでも目安となります。



県民等の復興への参画促進への取組（ナンバープレート導入）

県では、「地方版図柄入りナンバープレート」の制度を活用し、首里城復興への願いを込めて、自動車ナンバープレートに「首里城」を取り入れることとしている。

県内から公募等により集まった171点（117名）のデザインから、有識者による審査会にて9作品に絞り、県内在住者を対象とした県民人気投票を実施した。

人気投票の結果、12,625件の投票があり、うち最多得票4,888票を獲得した下記のデザインが決定した。

首里城図柄入り 自動車ナンバープレートデザイン 最優秀賞



沖縄のナンバープレートにもなるので、沖縄を象徴するシーサーと首里城のイラストを用いました。左下には、首里城のある那覇市の花ブーゲンビリアを入れています。遠くからでも首里城の全体像が把握でき、ナンバーの視認性は損なわないように工夫しています。



令和4年11月25日
デザイン決定の発表と制作者表彰式を実施



登録自動車(自家用)



軽自動車(自家用)



登録自動車(事業用)



登録自動車(自家用)



軽自動車(自家用)



登録自動車(事業用)

※発行手数料に加え、1,000円以上の寄付をしていただきますと、フルカラー版の図柄入りナンバープレートが選択できます。

**首里城図柄入りナンバープレートの
発行は、令和5年10月頃を予定**

県民等の復興への参画促進への取組（シンポジウム開催）



地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学
第14回 琉大未来共創フォーラム
Island wisdom for the world, for the future.






沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学共催

首里城再興学術 ネットワークシンポジウム 2022



歴史文化・サイエンス・教育・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有します。






開催日時：
**2022
11/13 SUN**
10:30～17:00
入場無料・事前申込制
〒901-0241 沖縄県豊見城市豊見城854-1
会場：沖縄空手会館 研修室
定員：会場参加 50名
オンライン参加 500名

◇プログラム
開会挨拶：波多野 泉 沖縄県立芸術大学長
第1部：口頭発表（演者7組）10:35～
第2部：ポスターセッション（発表15題）
昼の部開会挨拶：玉城 デニー 沖縄県知事
空手演武 14:35～
第3部：基調講演 14:50～
「復元と文化遺産の価値—首里城正殿、
ノートルダム大聖堂、そしてウクライナ復興も
見据えて」
第4部：パネルディスカッション 15:45～
「琉球文化遺産と首里のまちづくり」
閉会挨拶：西田 睦 琉球大学長

基調講演 講演者：
九州大学法学研究院・主幹教授
イコモス名誉会長
河野 俊行 氏



詳細は
こちら
QRコード

協力：一般財団法人沖縄美ら島財団、NPO法人首里まちづくり研究会、首里染織館suikara
後援：内閣府沖縄総合事務局、那覇市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
問い合わせ先：琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課
Mail: chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp
※フォーラム前日及び当日のお問い合わせは対応いたしかねますのでご了承ください。 詳しくは

お申込みは
こちら
Try Me!
QRコード

県、琉球大学、県立芸術大学の三者共催により、行政、芸術、人材育成、学術の面から首里城復興と沖縄の歴史文化復興に関するシンポジウムを開催

日時：令和4年11月13日（日）

@空手会館（オンライン配信あり）



令和4年度首里城復興イベント概要

沖縄県

日々、復元・復興を続ける
首里城の姿を見に行こう

漆喰シーサーづくり

令和4年度 首里城復興イベント

首里城への想い

2023.2/18土・19日・25土・26日・3/4土・5日

開催場所 首里城公園内

ものづくり体験・地域交流
会場：首里城公園（芝生広場）

R5. 2. 18-3. 5



漆喰シーサー作り



首里旗頭

ナイトタイムコンテンツ
会場：首里城公園（下之御庭・北城郭）

R5. 3. 4-3. 5



伝統芸能（組踊）



プロジェクションマッピング

首里城ナイトタイムコンテンツ



ものづくり体験イベント

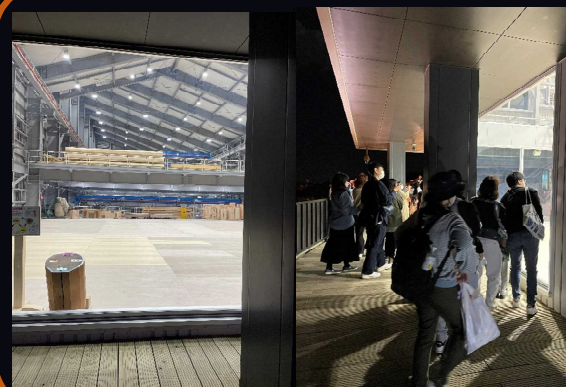


地域連携交流イベント

- 首里の旗頭 演舞
- 琉球舞踊
- 琉球古典音楽
- 国頭サバクイ・エイサー
- 首里まちお散歩ガイド

「今しか見れない
首里城をガイド」

夜の木材倉庫の様
子や復興の現状を
ガイドが案内



首里城復興イベントについて 「いざ首里城 令和の木曳式」



令和首里城復興イベント

いざ 首里城 令和の木曳式

王国の伝統が、令和によみがえる。

令和4年
10/29(土)
11/3(木)

いざ 首里城 令和の木曳式

- ・故事に倣った行事「木曳式」を実施し、首里城の完成を祈願し、復興への機運醸成を図る。
- ・寄付金を活用した木材のお披露目により、支援いただいた国内外の方々への感謝の意を示すとともに、復興に向け情報発信を行う。

御材木（おざいもく）
オキナワウラジロガシ
国頭村 楚洲（そす）にて採取
樹齢・98年 重量約4 t
長さ 約9m



SYURI NO UTA スペシャル動画

令和首里城復興イベント木曳式
チャンネル登録者数 122人

動画は首里城復興
サイトで視聴できます。



木曳式HP

首里城復興サイト

首里城復興に係る寄附金の状況

沖縄県に寄せられた寄附金額（令和5年3月末）

5,737,180,033円

（内訳）

令和元年11月～令和4年3月 **5,541,420,099円**

（首里城復興基金／首里城火災復旧・復興支援寄附金）

令和4年4月～令和5年3月末 **195,759,934円**

（首里城未来基金／首里城歴史文化継承寄附金）

焼失した首里城復元への活用を目的とした「首里城火災復旧・復興支援寄附金」は、令和4年度の正殿工事復元着工を節目とし、令和4年3月末で受付を終了しました。これまでの皆さまの温かいご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。

お寄せ頂いた寄附金は、「首里城復興基金の活用に関する方針」に基づき、焼失した城郭内施設等の復元に引き続き活用させていただきます。活用状況は、マスコミ公開や県復興サイト等を通してご報告致します。

今後、県としては首里城に係る伝統的な建築等技術に係る人材育成、周辺の歴史まちづくり推進等、引き続き首里城復興に取り組んでまいります。これら施策の推進にあたり、令和4年4月以降は、新たに「首里城未来基金」を創設し、首里城への思いを持つ皆様との連携・協働の一環として、引き続きご寄付を募集し、県事業と一体的に取り組んでいきたいと考えています。今後とも首里城復興へのご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します。

首里城復興基金(寄附金)活用取組(国との協議)状況

沖縄県首里城復興基金への寄附金は、令和3年度末時点で約55億円が寄せられており、正殿の木材、瓦、屋外彫刻、室内装飾等に活用することが決定している。

沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針 第1・第2より

基金は、一日も早い首里城火災からの復興を願う国外を含めた県内外からの寄附金によって積み立てられていることから、県民はもとより県内外の人びとの想いを尊重し、焼失した首里城の城郭内の施設等の復元に活用する。

活用に関する方針 第2より

首里城正殿の復元まで (第1フェーズ)

令和4年3月31日時点

※寄附金 総額
約55.4億円
【約24億円】

【】内は県で想定した
概算見込み額

(1)正殿の木材調達に関する事業

○大径材(柱・梁・桁などの軸組に使用)の一部

→令和2年9月 国と覚書締結 令和3年7月に国と調達範囲を協議し事業開始

○大径材を除く造作材(壁、天井、床などに使用)のうち県産材・化粧材

→令和3年7月 国と覚書締結 令和5年1月頃に国と調達範囲を協議し事業開始予定

(2)正殿の赤瓦調達に関する事業

→令和2年12月 国と覚書締結 令和3年度 試作開始 令和4年度以降に国と協議予定

(3)大龍柱等の石彫刻、唐破風妻飾等の木彫刻及び龍頭棟飾等の焼物など、 屋外彫刻の復元に関する事業

○石彫刻(大龍柱等)・木彫刻(唐破風妻飾等)

→令和3年7月 国と覚書締結 令和5年1月頃に国と調達範囲を協議し事業開始予定

○焼物(龍頭棟飾等)

→令和3年7月 国と覚書締結 令和4年度以降に国と調達範囲を協議し事業開始予定

(4)扁額などの室内装飾の復元に関する事業

○扁額 →令和3年3月 国と協議同意 令和3年度 事業開始

○扁額以外→令和3年7月 国と覚書締結 令和5年1月以降に国と協議し事業開始予定

正殿復元後 (第2フェーズ)

(5)～中略～北殿及び南殿
等の復元に関する事業

首里城復興基金（寄附金）を活用した取組 ※首里城扁額製作

〈目的〉

- 首里城火災で焼失した正殿の二階に掲げてあった扁額3枚（中山世土・輯瑞球陽・永祚瀛壖）の製作に向けた課題、検討事項の整理を行い、その仕様や製作方法等を取りまとめ設計に反映させるため、首里城扁額製作検討委員会を設置する。

ちゅうざんせいど しゅうずいきゅうよう えいそえいぜん

■検討委員会

- ・有識者・専門家5名（歴史・漆芸など）

■設計業務

- ・業務期間：令和3年7月頃～令和5年3月

■製作

- ・令和3年度の設計業務にて、前回と仕様が大きく異なることが分かった。令和4年度は、主に題字彫刻、落款印の仕様、彩色の色味、額縁彫刻文様の图案検討を行い、試作仕様を決定した。
- ・令和5年度より試作を開始し、試作での課題を本製作へ反映し、本製作に取り組む。
- ・仕様が大きく異なることから、国の正殿工事完成までに扁額1枚の完成を目標とする。
- ・製作期間：令和5年度～8年度（予定）

令和4年度の主な検討状況

- 題字の断面形状・厚み
- 落款印・銘の製作技法
- 彩色の色味
- 額縁彫刻文様图案

試作仕様の承認

令和5年度の取組（予定）

共同作業場

試作の確認検討

試作

製作状況確認

※試作を行いながら、課題を本製作へ反映。

本製作

◎題字の断面形状、厚みの検討



蒲鉾形15mm 薄板形15mm 蒲鉾形20mm

題字の断面形状は、琉球事例を参考に蒲鉾形で決定。

題字の厚みは、15mmと18mmの2案製作し、試作にて比較して決定する。

◎額縁文様の検討

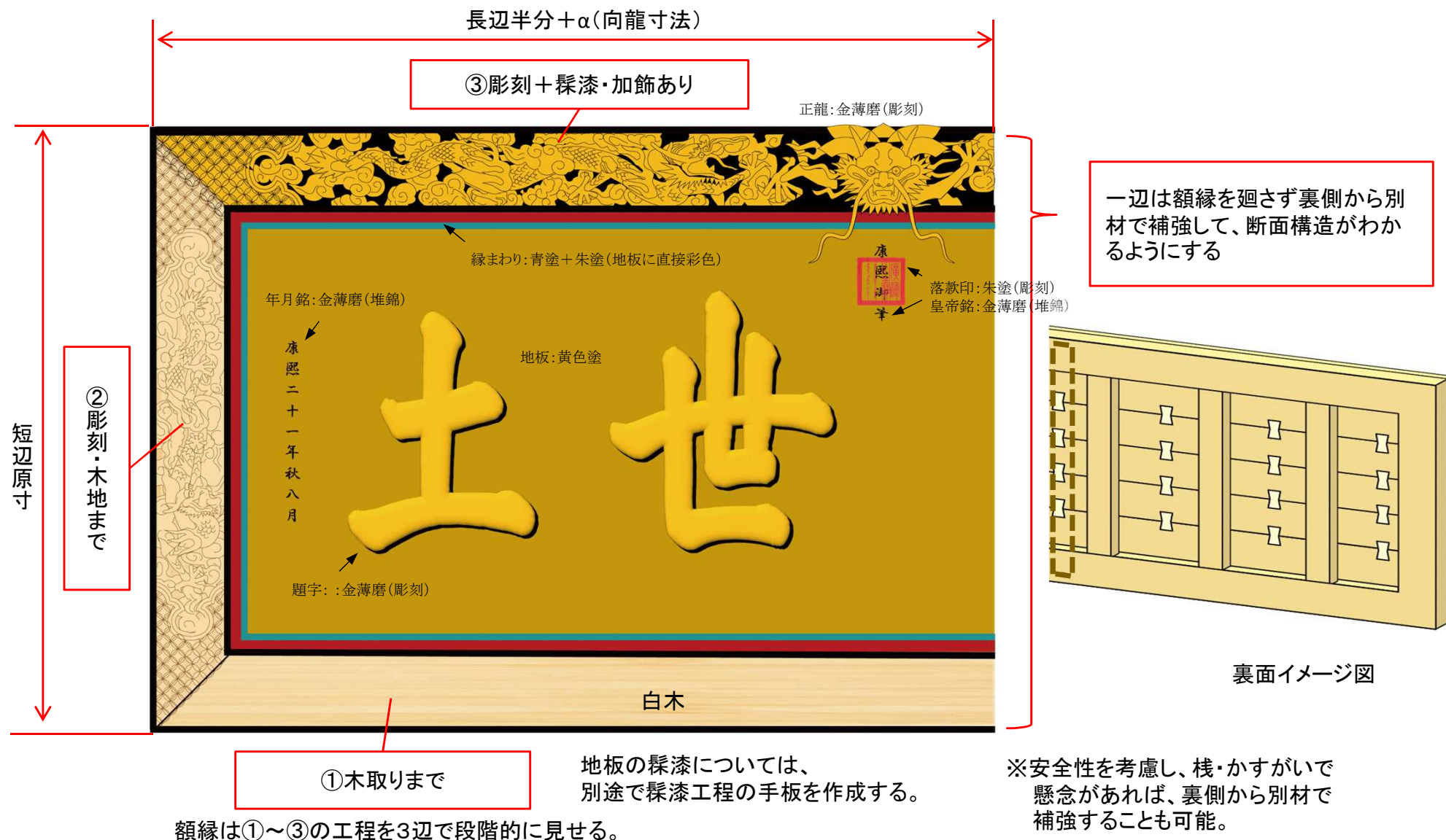


琉球彫刻事例の扁平の向龍を立体的にアレンジ。さらに、正殿大龍柱の特徴を反映。



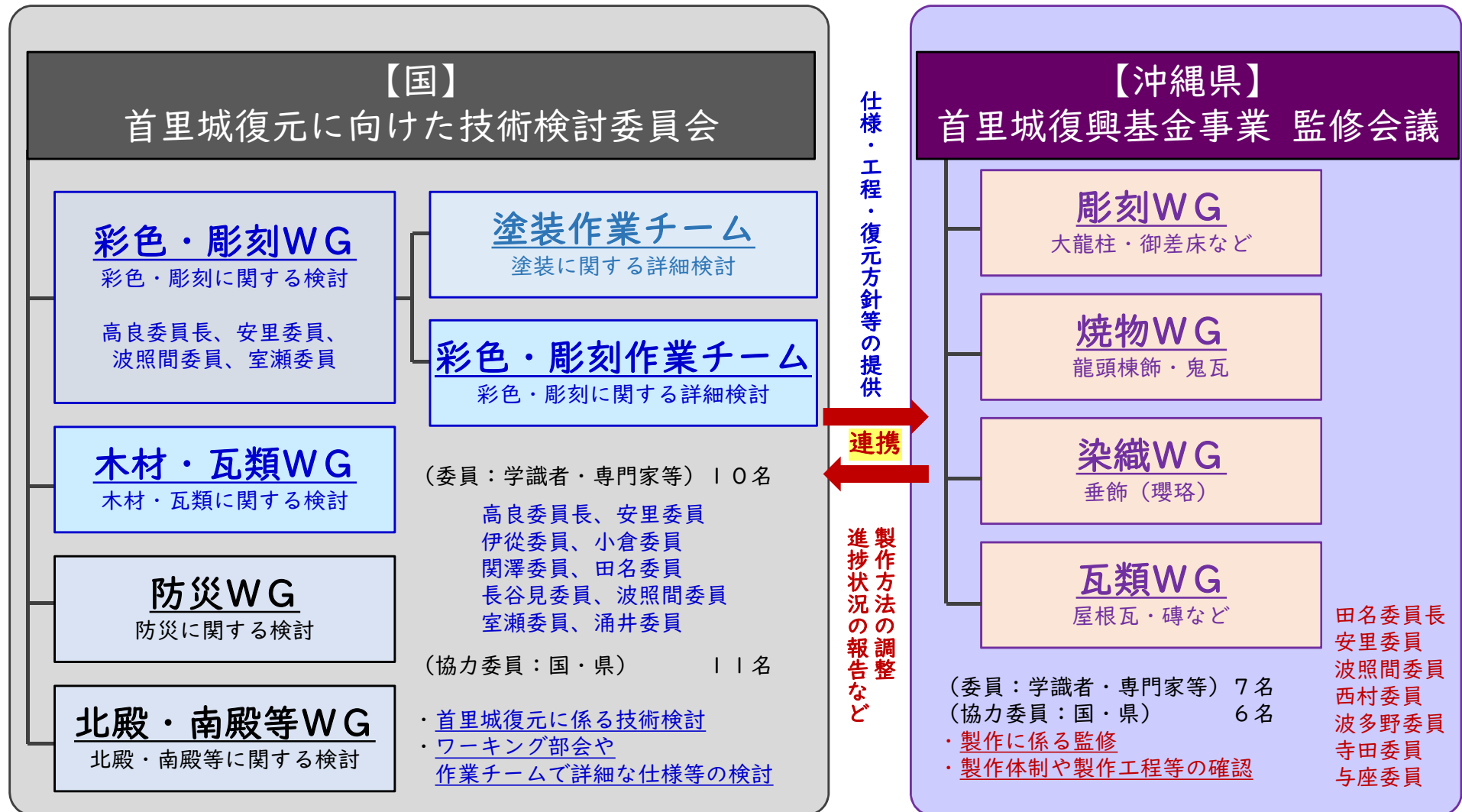
首里城復興基金（寄附金）を活用した取組 ※首里城扁額製作

令和5年度より開始する試作のイメージ



I. 首里城復興基金事業 監修会議

＜目的＞ 首里城火災からの復興を願う寄附金によって積み立てられた首里城復興基金を活用し、首里城正殿の復元工程に合わせ、国から提供された仕様をもとに円滑に製作できるように、首里城復興基金事業 監修会議（以下「監修会議」という。）を設置する。



県の会議と関係する会議

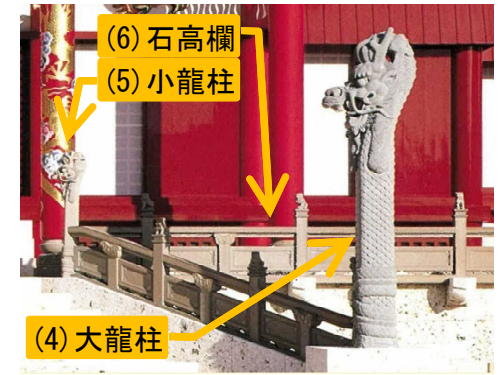
＜任期＞ 2年更新（再任を妨げない）

2. 首里城復興基金事業の対象

部位		種類	名称	
木材	-	大径材	柱材(国産ヒノキ) 向拝柱材(イヌマキ) 小屋丸太梁材	
	-	大径材以外	角材(化粧材・県産材) 板材(壁・天井・床等)	
赤瓦	(1)	赤瓦	瓦[正殿 約60,000枚] [金型・機材・環境整備]	【瓦類 WG】
	(2)	瓦類	雲型飾瓦[約280個] (くもがたかざりがわら)	
屋外彫刻	(4)	石彫刻	大龍柱/台石	【彫刻 WG】
	(5)	"	小龍柱	
	(6)	"	石高欄/持送石 (いしこうらん)	
	(7)	"	礎石[105個] 礎盤[4箇所×3段]	
	-	"	石階段	
	(8)	木彫刻	懸魚(げぎょ)	
	(9)	"	唐破風妻飾 (からはふつまかざり)	
	(10)	"	向拝 透欄間 (こうはい すかしらんま)	
	(11)	"	向拝 奥の彫刻物 (こうはい)	
	(12)	焼物	龍頭棟飾[3個+胴体] (りゅうとうむなかざり)	
	(13)	"	鬼瓦[4個] (おにがわら)	
	(14)	"	磚[約1,500枚] (せん)	
室内装飾	(3)	漆芸	扁額[3点](へんがく) [共同作業場]	
	(15)	垂飾	1階 御差床瓔珞 (うさすかようらく)	【染織 WG】
	(16)	造作・彩色	台御差床 (だいうさすか)	【彫刻 WG】
	(17)	造作・彩色	御差床 (うさすか)	



正殿以外の赤瓦[約30万枚]



県で製作し首里城内で国へ引渡し(彩色や設置等の現場作業を含まない)

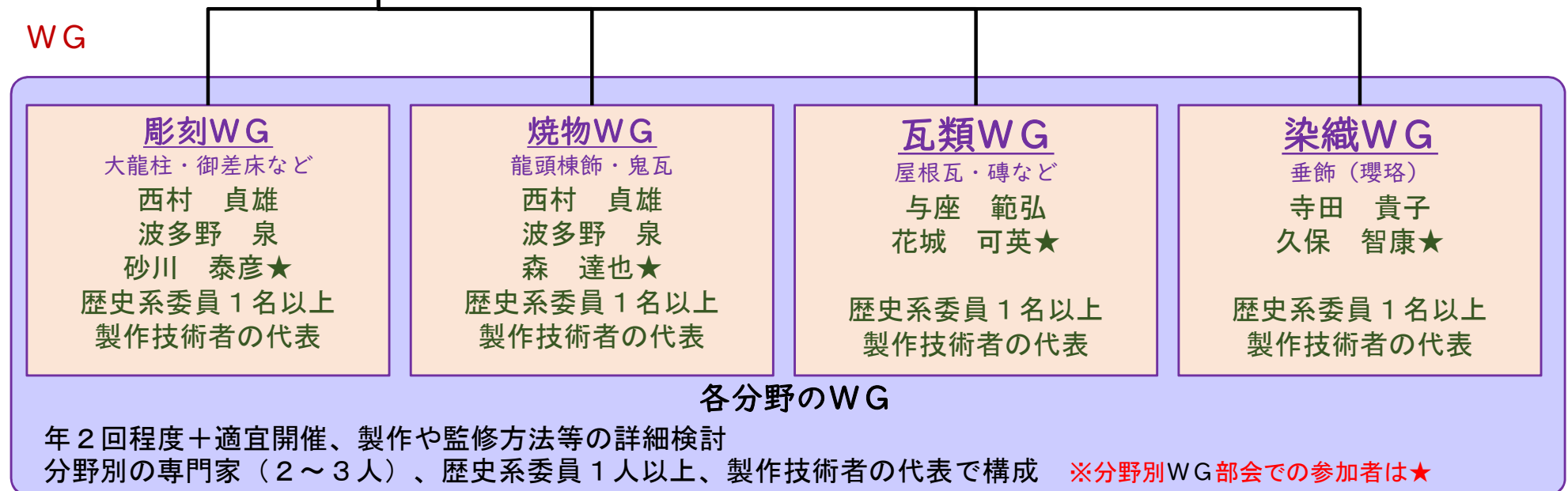
3. 監修会議、ワーキング部会の構成と役割

- ・ 監修会議では、学識有識者7人のほか、関係機関を協力委員として配置。【設置要綱 第3条】
- ・ 監修会議は、製作及び監修方針をとりまとめる場であり、各分野の監修に係る詳細事項については、ワーキング部会（以下「WG部会」という。）にて検討する。【設置要綱 第2条及び第6条】
- ・ 各分野のWG部会には、技術継承を図るため、若手を1名程度含める。

首里城復興基金事業 監修会議
年2回程度開催
製作及び監修方針をとりまとめる場
(1) 製作体制及び製作作業工程に関すること。
(2) 監修方法及び監修頻度に関すること。

委員	歴史(琉球史)	田名 真之	沖縄県立博物館・美術館 館長(委員長)
	歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	歴史(文化史)	波照間 永吉	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	彫刻・焼物	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授
	彫刻・焼物	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長
	染 織	寺田 貴子	活水女子大学 特別専任教授
	瓦 類	与座 範弘	沖縄県立芸術大学 工芸専攻非常勤講師

※協力委員6人（名簿は別紙参照）



4. 令和4年度における監修会議と各WG部会の開催状況

会議名	12月	1月	2月	3月	備考
監修会議	① 監修会議(12/6)			② 監修会議(3/7)	2回
彫刻WG部会	└───▶① 12/19	───▶② 1/27	───▶③ 2/28	───▶┆	3回
焼物WG部会	└───▶	───▶	① 2/3	───▶② 3/1	2回
瓦類WG部会	└───▶	───▶	① 2/17	───▶	1回
染織WG部会	└───▶	───▶	① 2/14	───▶② 3/2	2回

月	会議名	議論の概要
12月6日	第1回 監修会議	・ 監修会議及びWG部会の進め方の確認 ・ 技術者選定の基本的な考え方 及び 各WG部会での選定について確認 ・ 人材育成・技術継承の方針(製作記録の活用と情報発信など)の確認 ・ 材料調達の進捗状況の確認
12~3月	各WG部会	・ 製作・監修方針の詳細(製作工程と監修/記録の頻度など)を検討
3月7日	第2回 監修会議	・ 各WG部会の検討状況、製作・監修事項の報告 ・ 次年度の検討事項の確認 ・ 人材育成・技術継承に向けた製作記録の状況の確認 ・ 製作過程における資料状況とその活用・保管の方針の検討状況の確認

5. 首里城復興基金事業での人材育成・技術継承について

【人材育成・技術継承の3本柱】

4者：国・県立芸大・指定管理者・県

I. 首里城復興基金事業

「首里城復興基本計画」(R3.3 沖縄県)における「基本施策1：正殿等の早期復元と復元過程の公開」として、県内外の人々の想いを実現(カタチに)し見せていくとともに、「基本施策5：伝統技術の活用と継承」として、製作現場が人材育成や技術継承の機会を提供する場にもなる。

II. 首里城未来基金

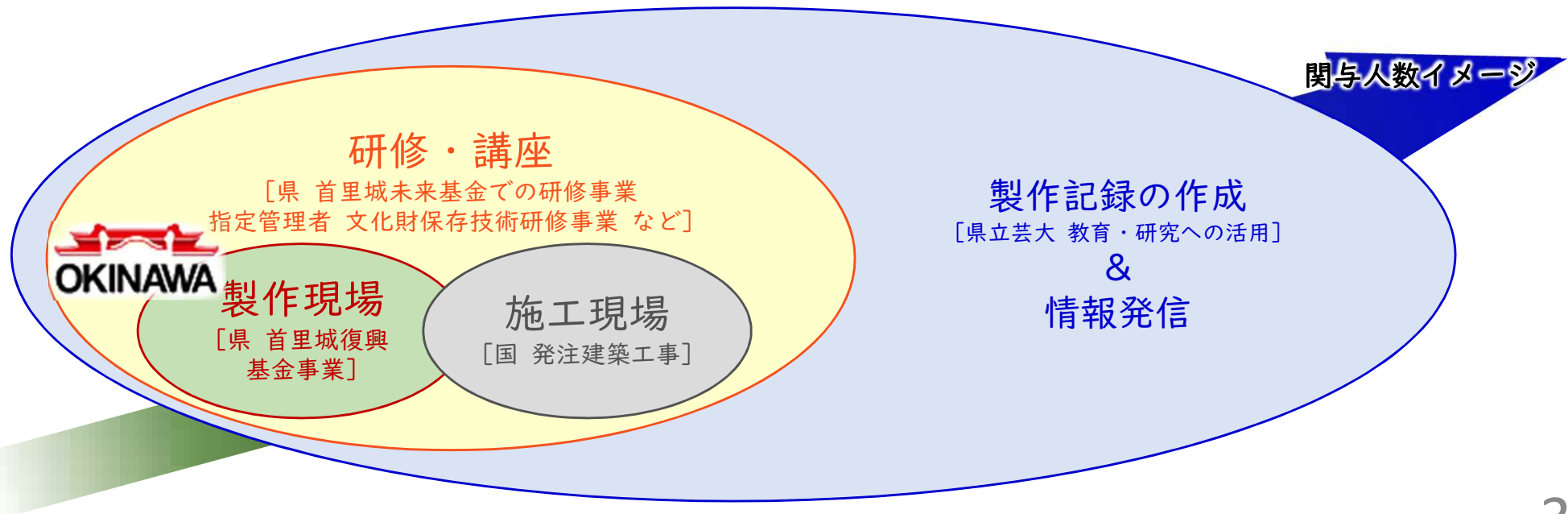
令和4年度から開始しており、「基本施策5：伝統技術の活用と継承」と同様に、「伝統的な建築等の技術の人材育成による継承」として、研修や講座(先進事例地含む)などを令和5年度より実施する予定。

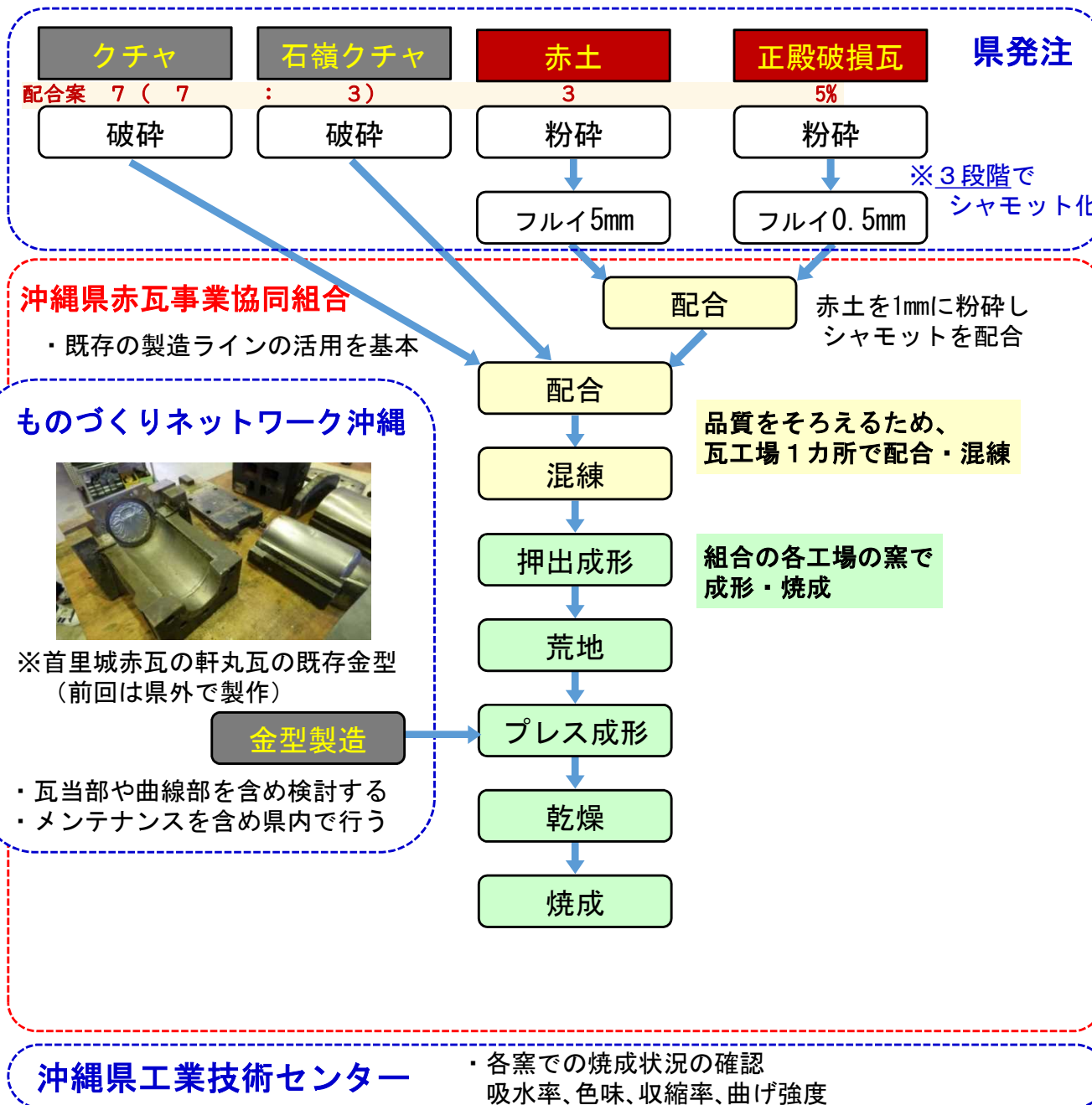
III. 4者の連携協定

県立芸大や指定管理者と連携し、国や県の現場体制の構築、現場研修(OJT)や講座(Off-JT)等の実施に加え、製作記録の教育・研究活動における教材での活用を図る。

また、首里城復元に資する伝統技術について広く関心を持ってもらえるように情報発信を行うので、製作記録は情報発信の素材としても活用することを視野に、将来の製作技術者の候補や伝統技術継承への理解者の裾野を広げることを目指す。

関与人数イメージ





シャモット化工程（18t）

1. ボランティアによる荒割り



正殿破損瓦
(5cm程度)



2cm程度へ突き割り

2. 乾式粉碎（2cm→2mm）



粉碎機へ投入



粉碎物の分別



粉碎後

3. 湿式粉碎（2mm→0.5mm）



ミルでの湿式粉碎



フィルター
プレスで脱水

※シャモット化イメージ
右写真は土砂を原料

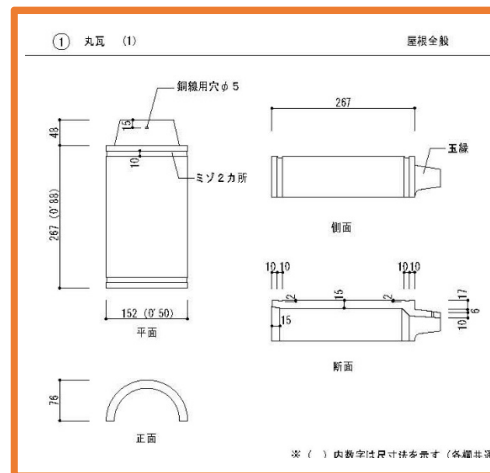


【方針】

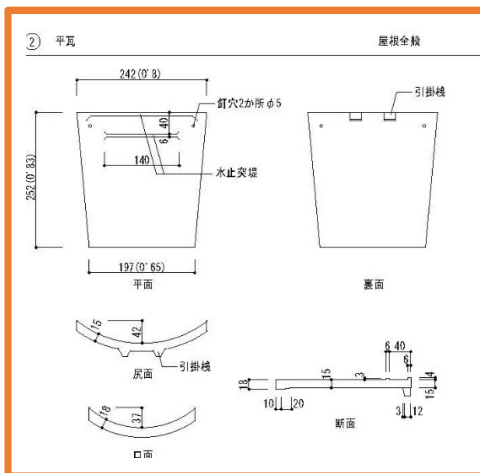
- 18種類の赤瓦の型ごとに製造品質や工程、費用対効果を考慮し、金型を独立型・併用型かを検討し、製造する。
- 独立型は、製造枚数が大量のものを基本とする。
- 併用型は、型が似ていて、左右対称や一部変更（切落等）のみのものを基本とする。
- 金型の種類は、保管方法の適正を含めて、検討する。

金型製造分担のイメージ

独立型

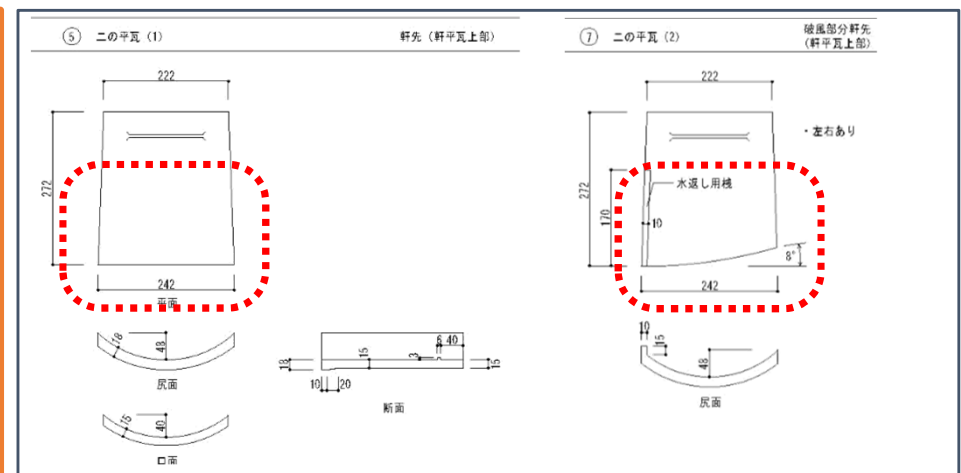


①丸瓦(1)14,900枚



②平瓦(1)38,200枚

併用型



⑤二の平瓦(1)757枚

⑦二の平瓦(2)左右各70枚

首里城復興基金（寄附金）を活用した取組 ※首里城復興基金事業 磚

- ・ 磚の仕様（原土やその配合、吸水率、強度等）については、令和5年度に品質試験用の機材を購入し、既存磚との性能比較など行い、検討を進める。
- ・ 今回の復元では、県内にある技術を活用しての生産が可能のように、県内の関係者と連携して取り組む。



首里城内の既存磚

瓦製造などの関係団体

- ◎品質を満足させる原土の調達
- ◎材料の配合・成形
- ◎各窯での焼成（試作検討含む）

首里城復興基金事業 監修会議

- ◎瓦類WGにて課題検討

沖縄県工業技術センター

- ◎原料の品質確認
- ◎成形・焼成状況の確認

連携
(技術指導など)

令和4年度 (2022)				令和5年度 (2023)				令和6年度 (2024)				令和7年度 (2025)				令和8年度 (2026)			
12	1	2	3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
製造検討（試作、原土および製造品質の確認）								製造								設置			
								原土調達、ねかし											

■ヒノキ

- ・柱材の165本を納入済
 - ・小屋丸太梁の4本を納入済
- 表面含水率：25.0%以下であることを確認



首里城木材倉庫への搬入状況



■首里城搬入スケジュール

- ・柱材 1月中旬より順次搬入、全4回(計165本)
 - 1月18日 57本 引渡
 - 2月15日 33本 引渡
 - 3月 8日 54本 引渡
 - 3月16日 21本 引渡
- ・小屋丸太梁 3月上旬より順次搬入、全2回(計4本)
 - 3月 8日 2本 引渡
 - 3月20日 2本 引渡



受け入れ検査の状況

■イヌマキ

- ・向拝柱用の7本は、全て今年1月に修正挽きを実施
表面含水率：25.0%以下であることを確認
(平均で昨年2月末63.4%から
今年2月末20.7%(18.6~23.4%の範囲)へ低下)

■首里城搬入スケジュール

- ・向拝柱材 3月14日 7本 引渡



イヌマキの修正挽き後の保管状況



イヌマキの強度試験状況

■オキナワウラジロガシ

- ・小屋丸太梁用の3本は、全て昨年2月上旬に収穫し、昨年5月末に樹皮剥ぎを行い、倉庫で保管
- ・年輪計測は、昨年9月中旬に谷口教授(琉大)等にて実施
(4+材98年・3+材84年・2+材72年)
- ・強度確認は、2月中旬にカストロ教授(琉大)にて非破壊試験を実施
- ・小屋丸太梁材3本は、3月24日に納入済。



イヌマキ運搬前検査状況



含水率計測状況



年輪計測状況



非破壊強度試験状況

【参考】首里城復興基金に関連する石材調達イベント ※与那国フェスティバル

※与那国町主催のイベント

【式次第】

1. 安全祈願
2. 主催者(町長)あいさつ
3. 町議会議長あいさつ
4. 祝辞
5. 来賓あいさつ
6. フルシお披露目
7. 共催者あいさつ
8. 伝統芸能披露

- (1)座ならし(自治公民館)
 - (2)とぐる岳節(宮良康正)
 - (3)木遣唄、踊り(自治公民館)
 - (4)旅果報節(宮良康正)
 - (5)嘉例吉節(//)
9. 式典終了宣言

～木遣唄・踊り～

場所：与那国町 久部良漁港内

日時：令和5年2月25日(土)午前10時～12時

約6～9トンの
細粒砂岩3つ
(大龍柱を予定)



安全祈願



主催者(町長)あいさつ



とぐる岳節



フルシお披露目



木遣唄、踊り



座ならし

- ・ 首里城復興基金への寄附受付は、令和3年度末を以て終了。
- ・ 引き続き首里城を思う国内外の多くの皆様と連携・協働し、一体的に復興へ取り組むため、令和4年度から下記の基金・寄付金を創設した。

「首里城未来基金」の活用先について

首里城に象徴される固有の歴史と文化の継承を目的としており、
県が令和2年度に策定した「首里城復興基本計画」の
基本施策に位置づけられている以下2つの事業が対象となります。

I

首里城復興基本計画
基本施策5(1)

伝統的な建築等の技術に
係る人材育成事業

伝統的な建造物木工(宮大工等)、
彫刻、塗装・彩色等の
技術者育成

II

首里城復興基本計画
基本施策6

古都首里の歴史的空間
創出に係る事業

首里城周辺の歴史・文化施設整備、
首里城城壁等の修復、
歴史まちづくり推進等



首里城歴史文化継承基金事業（R5新規事業）

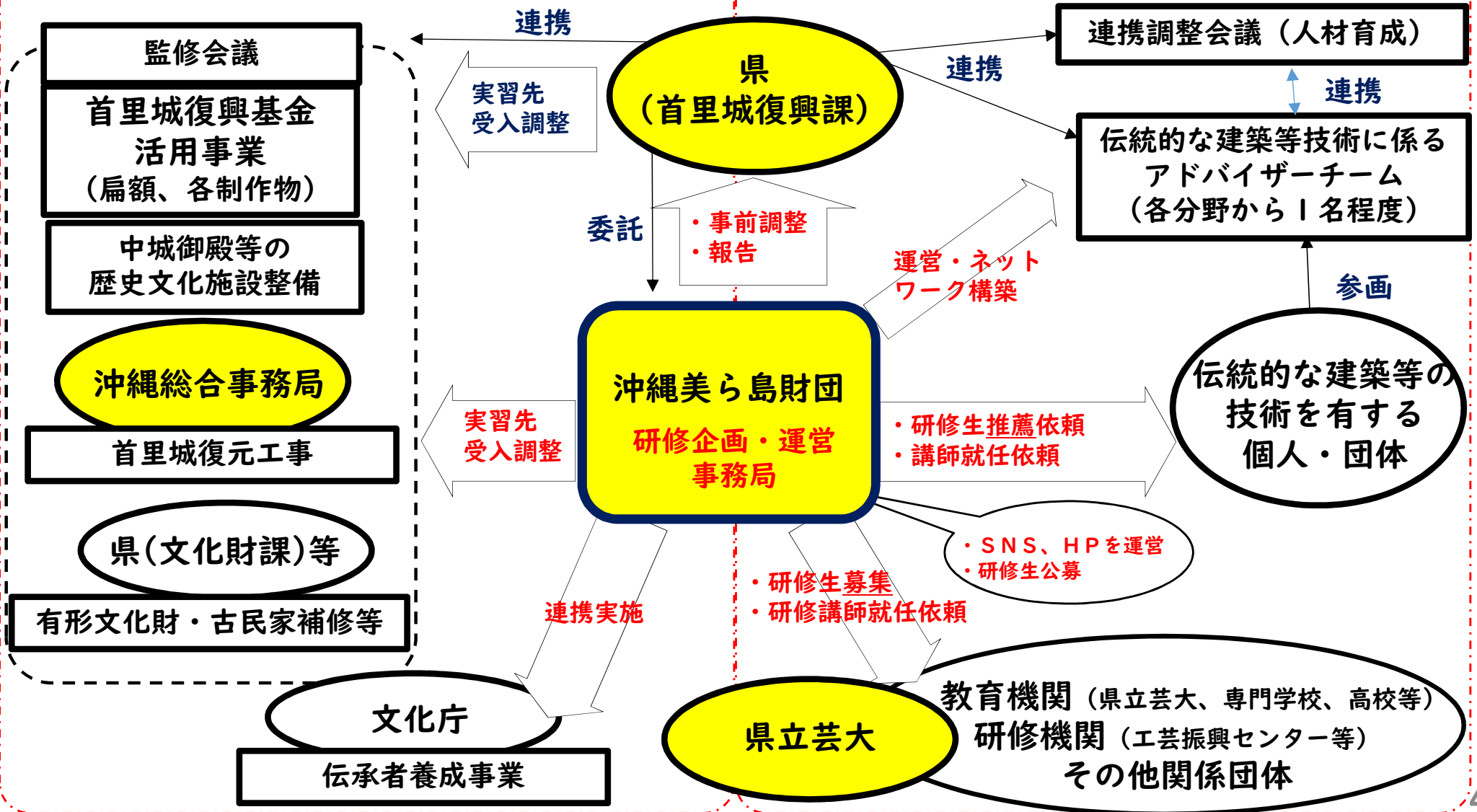
首里城未来基金を活用し、伝統的な建築等技術に係る人材育成に取り組む

目的1

復元事業等と連携した研修実施による現場
即応可能な人材の育成

目的2

各技術団体・個人のネットワーク構築による
将来自走可能な連携体制整備



首里城未来基金を活用した人材育成の取組

内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、(一財)沖縄美ら島財団、県立芸術大学は、正殿や北殿・南殿等の焼失建物の復元、さらに復元後の保存修復等に必要な伝統技術を継承すべく、復元、保存修復等の技術を有する人材の育成を進めるため、連携協定を締結した。

首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定締結式
令和4年11月22日 @首里城公園情報展示室



沖縄美ら島財団
花城理事長

沖縄総合事務局
田中局長

沖縄県
玉城知事

県立芸術大学
波多野学長

今後の県の取組

- ・ 首里城未来基金を活用し、令和5年度から人材育成に係る研修事業を実施する。
- ・ 国の復元工事、及び県の首里城復興基金を活用した制作物監修とも現場実習等で連携を図る。
- ・ その他、各機関連携して人材育成に取り組む。

これまでの県・国の動向

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

※関係主体欄の「美」は、（一財）沖縄美ら島財団

	年月日		
2021年	3月20日 ～4月18日	国 県 美	首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア再開
	4月1日	国	第5回 首里城復元のための関係閣僚会議 幹事会
	4月23日	県	「首里城火災に係る再発防止策（基本的な方向性）」を公表
	5月20日	国	正殿復元工事に向けた新たな見学通路、 および仮施設（原寸場、木材倉庫、素屋根）の整備を発表
	5月25日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 木材・瓦類ワーキンググループ会議 → 沖縄県から、県産木材（オキナワウラジロガシ）候補木の選定方法や環境対策等を報告
	6月1日	県	沖縄県とSCSK株式会社が「首里城復興におけるDX推進に関する連携協定」を締結
	6月2日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	6月7日	県	令和3年度 第1回 首里城復旧・復興推進本部会議（書面開催） → 首里城復興基本計画における基本施策の推進に向けた具体的な事業・取組として、 「首里城復興基本計画推進事業（70件）」を決定
	6月9日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	6月14日～ 7月16日	県	首里城火災破損瓦等の利活用アイデア募集（令和3年度1次募集）

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

	年月日		
2021年	6月24日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	6月30日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	7月7日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	7月14日	国 県	令和3年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	7月15日	県	令和3年度 第1回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	7月16日	国 県	令和3年度 第1回 首里杜地区整備検討委員会
	7月19日	県	令和3年度 第2回 首里城復旧・復興推進本部会議 → 首里城復興基金（寄附金）を活用し、県が石彫刻等の制作物、木材（小径材、造作材）、赤瓦（せん瓦、雲型飾瓦）などを調達・製作することについて、国に協議を申し入れる旨を決定
	7月20日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第3回会合
	7月26日	国 県	令和3年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	7月27日	国 県	令和3年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	7月30日	国 県	「首里城正殿復元工事に用いる制作物の譲渡に関する覚書」を締結 → 7/19に申し入れた協議について合意

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

	年月日		
2021年	8月13日	国 県	令和3年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	8月13日	国	首里城御庭の磚（せん）瓦の撤去作業を公開
	9月15日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	9月22日	県	第32軍司令部壕のドローン測量調査を公開
	9月29日	国	首里城御庭の北殿北側見学デッキの整備状況を公開
	9月30日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	10月3日	県	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2020開催（県立芸術大学・琉球大学との共催）
	10月5日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	10月8日	県	首里杜館の大型ディスプレイ、映像コンテンツ公開
	10月14日	県	令和3年度 第2回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	10月21日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

	年月日		
2021年	10月27日	国	首里城御庭の北殿北側見学デッキを一部供用開始
	10月28日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議
	10月30日～ 11月3日	国 県 美	令和3年度 首里城復興祭（主催：首里城祭実行委員会）
	10月30日	県	令和3年度 首里城復興イベント（10月30日・31日・11月3日）
	11月1日	県	琉球歴史文化の日 制定記念式典 → 沖縄の歴史・文化への理解を深め、次世代に継承し、新たな歴史と文化の創出に向けて 令和3年度より制定。
	11月2日	県	令和3年度 第2回「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
	11月3日	国 県	玉城知事が首里城の現場を視察
	11月6日～ 11月14日	国 県 美	首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア募集（最終）
	11月9日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	11月10日	国 県	令和3年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	11月16日	国 県 美	首里城復興DX共創ラボのオープン（連携協定：SCSK株式会社）
	11月22日～ 1月7日	県	首里城火災破損瓦等の利活用アイデア募集（令和3年度2次募集） → 今回から瓦の種類を追加し、石材も利活用募集を開始

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

	年月日		
2021年	12月1日	国 県	令和3年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	12月21日	国 県	令和3年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	12月24日	国 県	令和3年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	12月27日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第4回会合
2022年	1月13日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 防災ワーキンググループ会議
	1月19日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
	1月24日	県	令和3年度 第3回「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
	1月28日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
	1月30日	国	首里城復元に向けた技術検討委員会 報告会
	1月31日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興推進本部会議 → ①首里城火災復旧・復興支援寄附金の受入終了(R4.3.31)、②首里城復興への新たな基金の創設、③正殿への県産木材の使用変更について決定。
	1月31日	国 県	令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

	年月日		
2022年	2月2日	県 美	第1回 令和首里城復興イベント実行委員会
	2月3日	国 県	令和3年度 第2回 首里杜地区整備検討委員会
	2月3日～ 3月1日	県	「首里城公園管理体制構築計画（案）」に対する県民意見等を募集
	2月17日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 防災ワーキンググループ会議
	2月24日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
	2月28日	県 美	国頭村立安波小学校でのオキナワウラジログシ苗木づくり
	3月1日	国 美	正殿塗装の顔料である「久志間切弁柄」の塗装実験を公開
	3月2日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
	3月4日	県	令和3年度 首里城復興イベント（3月4日～6日・12日・13日）
	3月8日	国 県	令和3年度 第3回 首里城扁額製作検討委員会

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

	年月日		
2022年	3月10日	国 県	令和3年度 第3回 首里杜地区整備検討委員会
	3月16日	国 県	令和3年度 第3回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月17日	国 県	令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月23日	県	沖縄県議会で「沖縄県首里城歴史文化継承基金条例」が全会一致可決 → 首里城未来基金への寄附金の受入開始(令和4年4月1日～)が正式決定
	3月24日	国 県	令和3年度 第3回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月28日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第5回会合
	3月	県	「中城御殿整備基本計画」を改定

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

	年月日		
2022年	4月	県	「首里杜地区整備基本計画」を策定
	4月	県	「首里城公園管理体制構築計画」を策定
	4月1日	県	首里城未来基金（沖縄県首里城歴史文化継承基金）への寄附金受付を開始
	6月22日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議
	8月1日	国 県	令和4年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	8月3日	国 県 美	首里城復興ボランティア：赤瓦シャモットづくり（8月3日～11月30日）
	8月9日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
	9月14日	国 県	令和4年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
	9月21日	県 那 地	令和4年度 第1回 首里杜まちづくり推進協議会
	9月28日	国 県	令和4年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

	年月日		
2022年	10月3日	国 県	令和4年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
	10月29日	県 国頭	令和首里城復興イベント木曳式「国頭フェスティバル」「木曳パレード」開催
	10月30日	県 那	令和首里城復興イベント木曳式「那覇フェスティバル」開催
	11月3日	県 美 地	令和首里城復興イベント木曳式「首里城木遣行列」「木遣イベント」「首里城復興祭」開催
	11月3日	国	首里城正殿復元整備工事 起工式開催
	11月13日	県 学	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2022開催（琉球大学、県立芸術大学と三者共催）
	11月22日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定の締結
	11月25日	県	首里城図柄入り自動車ナンバープレートのデザイン決定
	12月6日	国 県	令和4年度 第1回 首里城復興基金事業 監修会議
	12月16日	国 県	令和4年度 首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議

県・国の動向（2021年4月～2023年3月）

	年月日		
2023年	1月13日	国 県 美	首里城復興ボランティア：うるし塗り原料「ニービの粉」製作（1月13日～5月14日）
	2月8日	国 県	令和4年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	2月18日	県	令和4年度 首里城復興イベント（2/18・2/19・2/25・2/26・3/4・3/5）
	3月2日	国 県	令和4年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
	3月7日	国 県	令和4年度 第2回 首里城復興基金事業 監修会議
	3月9日	国 県	令和4年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
	3月15日	国 県	令和4年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
	3月16日	国 県 美	首里城復元における技術継承・人材育成 第1回連携調整会議
	3月17日	国 県	令和4年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会
	3月24日	県 那 地	令和4年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

東のアザナより正殿方向を見る



R5.5撮影